

質問者	質問事項	質問要旨	答弁者	答弁要旨
玉城 安雄	球美の島エコアイランド化推進事業について	平成24年度より低炭素島嶼社会の実現と自然豊かな環境に配慮した島づくりの推進を図るため町内に設置されている水銀防犯灯のLED化事業を一括交付金を活用し、実施しているが事業効果について何点か伺う。 (1)防犯灯のLED化により、各自治会では電気使用料の軽減による経済効果があると思われる。今、年次的に個数を制限し事業実施しているが、集中投資して行う考えはないか伺う。 (2)公の施設等に設置されている防犯灯についてはどのように考えているか伺う。 (3)久米島高校、球美中学校の通学路となっている県道(真我里、山城、儀間の間)について、先の議会でエコアイランド事業で設置可能と答弁しているが、その後の進展はどうなっているか伺う。	町長	(1) 防犯灯のLED化事業は、一括交付金を活用し実施しています。全体計画で1,665基、そのうち平成24年度310基、平成25年度241基、平成26年度は204基を発注しています。平成27年度以降910基となっています。年次的に個数を制限しているのではなく、一括交付金の配分額の中で他事業への配分もあり、集中投資するのは厳しい状況にあります。 (2) 公の施設等の防犯灯についてもLED化する必要がありますので、一括交付金を活用できないか県と調整を図り、事業採択に向け取り組んでいきます。 (3) 久米島高校、球美中学校の通学路となっている県道については、先の6月議会で設置可能だと回答いたしました。調査した結果、約42基設置が必要だと思われます。それを字真我里(56基)、字山城(29基)、字儀間(157基)の計画設置数から配分することになり、この状態では3字が厳しくなると思われるので、新規事業として一括交付金を活用できないか、事業採択に向け取り組んでいきます。
山里 昌輝	元知事大田昌秀氏の銅像建立について	小さな島からの知事、副知事の誕生と言う画期的な事は二度とありえないことです。そんなことに敬意を表し又、未来の子供達のためにも銅像建立は、是非必要と思うがどうか。	町長	一般的にこれまでは町の周年記念の節目に町政功労者として表彰していますがご質問のような事例については期成会・記念事業等で特別に取り組むべきだと思いますので今後、他市町村の状況や規程等の整備を含め、情報収集していきたいと思っております。
山里 昌輝	子供達の体験交流について	町長の公約でグローバルな人材を輩出するためにも、交流事業は継続したいとのことは理解しているが、ハワイ交流、ホームステイ等々や佐賀県を中心に交流事業の意義を考えた場合その必要性、将来への可能性は十分理解できません。しかし一点だけ私が十数年来疑問を抱き続けているのが、仲里交流が今だに続けられていることです。このことについて、教育長は就任したばかりだが見解を求めたい。	町長	山里昌輝議員のご質問、なかさと交流についてお答え致します。なかさと交流は、平成3年より、本町旧仲里村と新潟県旧中里村とが同じ村名であることがきっかけとなり、交流事業がスタートしたと聞いております。旧村時にスタートした事業ではありますが、合併時に策定された「新町建設計画」や平成16年度を起点とする「久米島町第一次総合計画」等、町の上位計画の施策として継続されてきたものと認識しております。 なかさと交流は、両村の小学生が学校交流やホームステイ等での交流を通して親睦を深め、友情の輪を広げる事や、また環境・文化・気候等、生活習慣の違う地域での様々な体験を通して視野を広げる事をねらいとしております。このねらいについては、交流生の報告会での発表や作文等からも、充分達成できているものと考えます。 島に誇りをもち、将来の久米島を担う人材を育てるためにも、なかさと交流は小学生を対象とした人材育成事業として、大変貴重な事業だと考えております。
仲村 昌慧	県議会選挙区の見直しについて	県議会選挙区の見直しについては以前にも質問したが、いよいよ3月から4月にかけて県議会選挙選挙区の見直しの中間案をとりまとめ、パブリックコメントなどで県民の意見を募集し、6月定例会にも条例を改正するスケジュールであるという。選挙区見直し実現に町としてどう対応しているか伺う。	町長	ご質問の内容については1月27日付け、沖縄タイムスに掲載されておりましたので、只今、離島町村長・議長連絡協議会を通じて詳細を県議会事務局に確認中です。
仲村 昌慧	期日前投票について	本町は期日前投票を仲里庁舎1カ所で行っている。具志川側からは遠いので、具志川側でもできるようにしてほしいと要望があったが、町長は検討すると回答していた。どう検討したかその結果を伺う。	町長	2月19日に選挙管理委員会を開催し、委員との意見交換を行いました。諸問題がいくつかございますが町議会議員選挙については両会場にて期日前投票が可能か検討させております。

質問者	質問事項	質問要旨	答弁者	答弁要旨
仲村 昌慧	園芸科の存続について	久米島高校の園芸科の存続については、島外からの生徒の募集や、高校の魅力化に取り組んで、実績を上げているところであるが、県立高等学校編成整備計画の基本方向では平成28年度より定員に満たなければ募集停止し、廃科にする方向である。園芸科存続について町の対応を伺う。	町長	仲村昌慧議員のご質問園芸科の存続についてお答致します。平成24年から平成33年度における県立高等学校編成整備計画によれば、平成28年度に園芸科の定員を満たさなければ、翌年から募集を停止するということになっております。これを受けて、園芸科の存続に向け、現在里親制度を活用して県外や島外から受験生を呼び込み、生徒数を増やす取り組みを、町を挙げて取り組んでいるところです。今後は、里親制度だけでなく、寮制度を活用し、より多くの入学生が生活できる環境整備を進めてまいります。
宇江原 総清	鳥島射爆撃場の早期返還について	<p>昨年11月1日に、今は亡き菅原文太さんの演説を聞いた。私の印象に残っているのは、政治の役割は二つあります。一つは国民を飢えさせないこと、安全な食べ物を食べさせること。もう一つは、これは最も大事です。絶対に戦争をしないことである。政治はクージーモン＝経済的弱者の底辺を上げること。平和であること、につきる。</p> <p>安倍政権は、世界警察と言われるアメリカに追従し戦争係属に荷担する事は明白だ。その一端が、鳥島射爆撃場の実射訓練の継続だ。このような政治戦略は、その後のツケが大きい。久米島町民の経済的弱者の底上げと平和を勝ち取るためには、「鳥島射爆撃場の早期返還」と「コンクリート護岸の撤去と植栽」であると考える。ロマンと参画意識を以って町長に伺う。</p> <p>(1)町長は「鳥島射爆撃場の返還は経済効果大きい」としているが、具体的に例示していただきたい。</p> <p>(2)劣化ウラン弾と放射能についての考え</p> <p>(3)鳥島射爆撃場早期返還の町民総決起大会の開催はやる意志はあるのか。</p>	町長	<p>(1) 前平良町長の平成25年6月議会での答弁で示されていますが防衛庁への陳情の際に射爆場が返還された場合に鳥島全体を巨大パヤオに見立て、漁獲高やフィッシング客、ダイビング客の増加を想定し、2億円はあると試算されています。</p> <p>(2) 劣化ウランとは天然ウランから鉱石ウランを抽出するときにできるのが劣化ウランという重金で毒性があり、その劣化ウランを主原料とする合金を使用した弾丸全般を指し、主に対戦軍用の砲弾・弾頭として使用されているようです。放射能とは放射性物質ともいわれ、福島原発での放出事例や、身近な部分では医療施設でのレントゲン撮影にも用いられていると思います。前者の部分においては被弾することによって劣化ウランが燃焼し、酸化ウランの微粒子となり、風に乗り飛散するといわれています。</p> <p>(3) この質問に対しては再三、答弁していますが私としては町民総決起大会はタイミングを見ながらやるべきだと思いますが町民生活や町経済と関連する重要事項ですので県漁連や町内関係諸団体、軍転協とも協議を重ねながら進めていきます。</p>
宇江原 総清	コンクリート護岸の撤去と植栽について(河川含む)	町長は、前回の12月定例会で「台風の際の塩害がコンクリート護岸によるものか、明確でないため、コメントを控えたい。」と答弁している。大変な認識不足だ。私が再度の現場実態写真の説明と被害現場、実地踏査＝検証を行いたい、どうか伺う。又、銭田川、謝名堂川及び儀間川の進捗状況も合わせて伺う。	町長	<p>これまでの前町長の答弁においてもコンクリート護岸の撤去とそれに伴う潮害防備保安林の植栽については繰り返し議論され、因果関係についても確認できない状況は現在でも同様ですという意味合いでの答弁です。</p> <p>銭田川水利施設整備事業は南部農林土木事務所にて実施しています。進捗状況は、今年度2号橋の整備を実施しています。美栄橋までは、用地交渉もほぼ完了し、相続等の法手続が終了次第、河川改修工事を実施する予定であると報告がありました。また、謝名堂川については、南部土木事務所で事業実施しています。先の12月議会にも答弁したとおり、現況調査測量業務を発注済みで、工期が3月31日までとなっています。翌年度に実施設計を発注した段階で、放線及び工法等を地域や役場と協議する予定であると報告がありました。</p> <p>儀間川については、県土木建築部河川課にて変更計画を実施しています。この整備計画は、タイ原ダム建設中止に伴い、儀間川から謝名堂川への導水計画が無くなったことから河川法に基づき、整備計画の変更を沖縄総合事務局と協議中であります。協議終了後に沖縄総合事務局から国土交通省及び環境省へ整備計画(案)を提出する予定であります。儀間川総合開発事業による儀間ダムの整備により、儀間川の治水上の安全性は向上していることから、儀間川の河川整備事業化は、今後の状況を見ながら検討したいと報告がありました。</p>

質問者	質問事項	質問要旨	答弁者	答弁要旨
宇江原 総清	真泊の避難道路の進捗状況とソナミー帯の文化遺産構想について	(1)避難道路はどの地点までか。 (2)涙石側の畑を買い上げての避難場所と烽火台等の駐車場計画はないのか。 (3)災害時非難通報体制はどうなっているのか町長に伺う。	町長	(1)平成26年度に地域説明会にてご提示した避難階段の整備で上部の畑がある地点までです。 (2)平成26年9月議会における答弁で同地域が「土砂災害警戒区域」の候補として上がっていると答弁しましたが、平成26年11月25日に沖縄県により指定されました。同指定により、整備場所の状況は計画当初とは違っていますので、指定先の県側と調整を行う必要があります。又、公園・文化遺産として整備することについても、より慎重に検討する必要があるものと考えております。 (3)災害発生が予想される、或いは発生した場合には防災行政無線、FMくめじま、エリアメール、町のホームページ等により警戒を呼びかけながら、防災関係機関からの情報収集及び現場確認などによる状況の変化を随時、通報いたします。
宇江原 総清	久米島一周線謝名堂から泊間の改修工事・進捗状況について	同道路は10年以上も前から道路拡張のための杭打ちがなされているが、今だに計画が進んでいない。同道路は歩道も狭く高齢者が押し車で車道を利用している。小中学生も車道を歩く姿が見られ、危険な状態だ。杭打ちどおりの拡張工事の今後のあり方について伺う。	町長	本道路整備事業に関しては、県土木部長、南部土木事務所長等に直接要請してきました。旧仲里村時代の平成12年度に仮設計は実施されていますが、工事実施までは至っていません。県土木建築部からの回答は、「当該区間については、歩道や路肩が狭く、自転車や歩行者の通行に支障をきたしている」と認識しております。整備については、現在整備中の比嘉・島尻区間、振興通り等の進捗状況や、交通状況の変化を踏まえ、事業化を検討していきたい。」と回答があ
喜久村 等	景観条例について	(1)美崎地区の景観条例の進捗状況について伺う。 (2)美ら福木の剪定と手入れ (3)景観にマッチしたガードレールの取り換えを県に要請し実現できないか。	町長	(1)本町では、平成24年9月に景観条例が制定、10月に景観計画が策定されました。その計画において、久米島らしい良好な景観形成や保全に向けて、より重点的に取り組むべき地区として5つの地区が指定され、美崎地区はその一つとなっています。平成25年4月より、重点地区を対象とした、景観形成助成金制度がスタートし今年度で2年目を迎えますが、美崎地区において3件の赤瓦の葺き替えに対する助成を行っております。 (2)美ら福木につきましては、平成27年度に樹勢回復、平成28年度に剪定作業を計画しています。 (3)美崎地区の景観にマッチしたガードレールの取り換えを県へ要請したが、車道、歩道とも施設状態が良く、整備する計画は無い旨の回答がありました。
棚原 哲也	河川整備について	儀間川の整備が採択されたが何年計画で整備がなされるのか。設計及び工法等について、町及び流域の集落の意見が十分反映されているか。又、環境に与える影響にも十分配慮された整備になっているか伺いたい。	町長	儀間川の整備で採択されているのは、儀間川総合開発事業(儀間ダム整備)だけです。儀間川水系河川整備計画の変更(案)は、河川法に基づく整備計画の変更です。平成13年度に策定された整備計画の変更を行うものだと報告を受けています。
棚原 哲也	町営墓地の整備について	町営墓地は島内の何か所に整備する計画になっているのか。大原地区に区画整備済みの数は何区画あり、又完売されているのか伺いたい。	町長	久米島町墓地整備基本計画では、公営墓地の設置箇所は、旧仲里村地域及び旧具志川村地域の各1箇所を想定しています。大原地区については町有地と一部個人有地を含め、24区画あり現在、22区画は完売、2区画は予約され、手続き中です。
棚原 哲也	公園に設置されている遊具の管理について	島内の公園遊具の中には経年劣化等で破損した箇所が見られ、使用中損害事故が発生する恐れがある。子どもらに何か起きてからでは取り返しのつかないこととなります。早急に総点検をし、破損している遊具については補修を行うか、補修が行われるまでは使用を禁止にする必要があると思うが対応策を伺いたい。	町長	公園の遊具につきましては、定期的に点検をして破損箇所等の補修を行っております。遊具の設置から相当年数がたっているため、中には遊具としての機能をはたしてなく柱だけのものについては撤去をします。 銭田森林公園の滑り台は、ローラが劣化して破損しているため危険な状態にありましたので応急処置の対策をし安全を確保しています。今後、部品の交換が出来ないかメーカーに問い合わせをして対処したいと思っております。

質問者	質問事項	質問要旨	答弁者	答弁要旨
島袋 完英	文化の振興について	(1)文化協会や芸能保存会と連携を図り充実発展に努める。との方針ですが、現在、両組織が一番に苦慮しているのは、事務局の件です。昨年常勤の案がありました、実現しませんでした。あらゆる面から、島の文化の発信は大事です。常勤の事務局員を配置する考えは。 (2)常勤の事務局が配置できれば老人福祉センターの委託管理も両会に移譲してはどうか。	町長 教育長	(1) 島袋完英議員のご質問、文化協会と民俗芸能保存会の常勤の事務局員の配置についてお答え致します。文化協会におかれましては昨年9月に新任の事務局長が決まったとのご報告をいただきました。民俗芸能保存会につきましては、これまで事務局案件でお話を伺った経緯はございませんが、現在非常勤の事務局長がいらっしゃるの、今のところ現体制で大きな問題はないと認識しております。 (2) 老人福祉センターにつきましては、福祉施設としての位置付けで社会福祉協議会が管理しており、今のところ移譲の考えはありません。
島袋 完英	観光産業の振興について	振興計画を策定して2年目で、入域客数が99,000人を達成できる勢いで大変喜ばしいことです。さらに、発展させる為に次の質問をします。 (1)世界の観光地で有名な所は、ほとんどが西側です。それはなぜか、夕日です。観光はロマンです。朝日を観て感動するのは、元旦の初日の出くらいでしょう。そこで、西海岸の岩礁を取り除き水上スポーツができるよう、整備する考えは。 (2)久米島球場からサイプレスホテルまでの海岸を「海水公園」として整備する考えは。 (3)元自動車学校の跡地は民有地ですが、行政も一緒になって事業誘致はできないのか、又その考えはないか。	町長	(1) 漁業権の設定されている漁場内において岩礁を破碎しようとする者は、沖縄県知事の許可を受けなければならないようになっていて、厳しい規制があります。また、久米島町の売りは、自然豊かな環境です。自然環境に手を加えることは、どういう影響が現れてくるか、予想が難しいところもありますのでご提案の件は困難だと考えています。 (2) 西海岸の整備については、旧具志川村時代に整備計画がありましたが、実現しなかった経緯があります。その経緯を踏まえて、民間が投資する環境にあるのか情報収集をしてみたいと考えています。 (3) 元自動車学校跡地は、民有地ですが企業からオファーがある場合は、斡旋したいと考えています。
島袋 完英	儀間川の整備案について	県河川整備検討委員会で年度内に「国に計画案を提出」となっていますが、町側からの特別に要望も出しているのか、たとえば川沿いは桜、さがり花等花見ができる施工とか。	町長	県河川整備検討委員会で協議された、儀間川河川水系整備計画(案)は沖縄総合事務局にて審査しています。河川水系整備計画は、2級河川の管理者である沖縄県知事が河川法に基づき「計画的に河川の整備を実施すべき区間について、河川整備計画及び河川整備基本方針を定める」ための検討委員会です。計画策定後に、儀間川河口を起点に上流5.6km(フサキナ池)までの区間を整備対象としています。町側からの特別な要望等は、儀間川河川整備事業を計画及び採択するときに、意見聴取があると思います。
島袋 完英	航空運賃について	27年度県予算で、那覇・久米島間の運賃補助の案が出ているようですが、何%か、それと対象の範囲は。	町長	平成27年度予算で行われる那覇・久米島間の運賃補助制度は、15%の割引を予定しています。補助対象は、交流人口(観光客や郷友会関係者、ビジネス客等)が対象となります。
島袋 完英	町の職員採用について	外国人の観光客が目立つようになりました。それに対応できる職員は何人いるのか。今後の採用に語学面を重視した採用も必要かと思うが。	町長	職員で英会話を日常会話レベルで対応できる職員は何人かいると思いますが業務上で支障がある状況ではございませんので把握はしていません。職員採用においても語学力を重視した採用は今のところ、考えておりません。